

分科会1「越境と可動性」
モビリティによる「居住移動」「オフィス移動」の可能性

野瀬勇一郎 (Carstay 株式会社)

1. Carstayとは

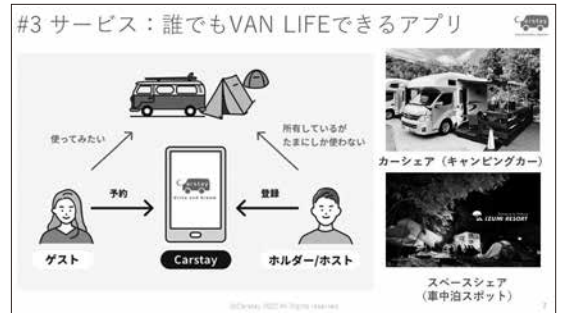
(1) キャンピングカーと車中泊のシェアリングサービスのプラットフォームです

①Vanlifeのライフスタイルを日本でスマホで簡単に実現化!

「誰もが好きな時に、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる」それがCarstayの理念です。アメリカ等でVanを移動のみならず、居住スペースとして楽しむスタイルがVanlife。この日本でも定着の兆しを感じられます。海外、日本でも約1,200万件もの発信があり、多くの非日常空間を楽しんだ投稿がなされています。



車中泊スポットとしてシェアしている。その数は2022年1月現在キャンピングカーシェアが約240台登録、車中泊スポットが約340カ所登録されています。



②シェアリングエコノミーのプラットフォーム

キャンピングカーを購入された方の多くは年間9割利用されていない。その車両を使っていないときにシェアするカーシェアサービス。くわえて、遊休地も

③欧米との違いは

キャンピングカー先進国である欧米は日本の市場の約50-100倍大きいと言われていています。しかしながら、安全面、道路事情などを考えると日本は世界でも有数



の「クルマで旅のしやすい国」であると言えます。

2. モビリティによる「居住移動」「オフィス移動」の可能性について


キャンピングカーは部屋とほぼ同様の機能を持っていると言えます。

#6 居住移動_キャンピングカー

「移動」+「居住スペース」=「部屋化&家化」

- ☑ 運転席・助手席
- ☑ ダイニング
- ☑ ベッド (4-5名就寝)
- ☑ 冷蔵庫、シンク
- ☑ テレビ

部屋とほぼ同じ機能を有する



©Carstay 2022 All Rights reserved 11

だからこそ、二次交通や宿のない場所にも積極的に移動、滞在ができるのがキャンピングカーでの移動と滞在のスタイルです。

#6 居住移動：密集する観光地よりも

二次交通がなくても宿が不足していても公共交通機関やホテル・旅館を頼らず日本の隅々まで旅をし居住することができる



©Carstay 2022 All Rights reserved 13

Carstayでは2021年度ひろしまサンドボックス「D-EGGS」プロジェクトで車内寝泊計画を実証実験いたしました。二次交通や宿の不足などによる課題があるとおもわれる広島県三原市で「キャンピングカーシェア」「車中泊スペース」のシェアを活用して、

#6 居住移動：車内寝泊計画

車中泊文化（カーシェア+スペースシェア）の受け入れ



三原市がキャンピングカーで来やすい「街」

三原市
経済の活性化

Carstay
文化の普及啓蒙
・クルマの利用
・車中泊場所確保
・ライフスタイル

©Carstay 2022 All Rights reserved 15

このエリアを「キャンピングカーで来やすい街にする」。そうすることで地元で経済効果を生むことができるのが仮説でした。

実証実験の内容は①キャンピングカーユーザーに喜んでいただける場所、コンテンツをもっているか。②若い女性にとって魅力的なコンテンツ提供は可能か。③都市部の家族にとって定住、移住を視野に入れて魅力的な場所、コンテンツを有しているか。④地元の歓迎はあるか。以上4点でした。

#6 居住移動：車内寝泊計画



©Carstay 2022 All Rights reserved 17

結果は、「地元市民の認知度」は約7割で、「期待する」が95%でした。また、どのモニタリングツアーも満足度が高く、滞在型観光に対しての期待度が非常に高かった結果となりました。

#6 居住移動：車内寝泊計画



居住移動にこそ付加価値を認めて頂き
包括連携協定を軸に3年で定着を目指す

©Carstay 2022 All Rights reserved 18

非常に期待度の高い実証実験の結果から三原市と地元事業者、そしてCarstayでの三者包括連携協定を2021年12月1日に取り交わすこととなり、22年度からこの車内寝泊計画の実装に対して本格稼働する予定となっております。

3. オフィス移動；モバイルオフィスとは

モバイルオフィスとはキャンピングカーを活用した「動くオフィス」として提供されるワークスペースです。



コロナ禍のなかで、オフィスに対しての従業員の課題は多いと言えます。



だからこそ、キャンピングカーは自由にワークスペースを必要とすることに必要数だけ容易に提供することができます。

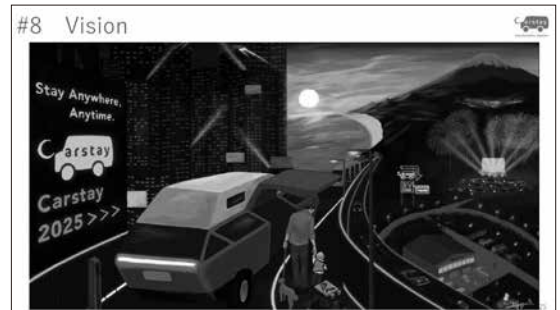
Carstayでは様々な事業者様、企業様と連携をしながら、



ながら、実証実験をかさねております。都市部、住宅地などでキャンピングカーをワークスペースとして活用いただくことで移動に対してのストレスを軽減し、また、テレワークスペースの環境のない方々への課題解決を図っております。

4. 総括

モビリティはいまや移動だけの手段ではなく、如何に快適に居住するか進化してきています。自動運転になればくわえて、クルマは更に「部屋化」が進むことでしょう。移動中に「食事」「睡眠」「仕事」「テレビや映画鑑賞」ということを行うことができる時代が来るはずで。そうなることで「移動」という概念は希薄化され移動中に本当に多くのことができるようになります。24時間、365日の「時間概念」や「移動」に対しての概念も変わり得るほど人の活動時間が効率的になると思います。また、都市部と地方部でのつながりも更に拡大することとおもいます。Carstayは自社のプラットフォームを活用し、移動と滞在のストレスのない社会を目指していきます。



参考資料・データ

- ・ Instagram (#Vanlifeの数)
- ・ AutoMesseWeb2019.12.1<欧米ほど普及しない本格的なキャンピングカー、日本で所有するための意外な方法とは (1/2 ページ)><https://www.automesseweb.jp/2019/12/01/274502>